

議会報告会質疑応答及び意見

場所：鶴瀬公民館

決算議案の報告に対する質疑応答

市民

全国学力テストの結果が出され、埼玉県が全国平均よりも低い、また、富士見市も全国平均よりも低い。このことについて、市としてどのようにしていくのか。文教福祉分科会で、どのような議論があったのか？

議員

文教福祉分科会では、議論がなかった。しかし、学力向上についての質疑が、委員からあった。平成27年度、小学校の算数に限定して、中学校の先生が小学校に年3回くらい赴いて、問題解決に向けての研修を行ったということがあった。

市民

来年か再来年、富士見和光バイパスが、254号バイパスにつながり、利便性が高くなるが、市として、このチャンスをどのように活かすのか。建設環境分科会で、どのような議論があったのか？

議員

いずれは、外環道までつながることになるが、志木市の方が、地権者の問題で、工事が止まっている状況。建設環境分科会では、これ以上議論がなかった。

市民

電線の地中化について、電線があると、鳥が来てにおいもするし、子供にとってもいい環境とは言えない。何とかその対策をお願いしたい。

議員

電線の埋設化については、建設環境分科会で議論がなかった。ムクドリ対策については、市として忌避剤、音を出して対応をしている。

市民

昨年7月にプレミアム商品券を市民に販売したが、売れ残りがあった。
なぜ市民に再販売をしなかったのか？

議員

販売は、市ではなく、商工会で行った。建設環境分科会でのプレミアム商品券についての議論はなかった。おっしゃられたことは、ご意見として承る。

市民

街路樹の枝の剪定を早くやってもらいたい。

市民

市の防災訓練に参加したが、防災行政無線が聞こえないなど不十分な点があった。障がい者に対する今後の対応の仕方について、また、災害が発生した時に、自分で避難することが難しい人（障がいの方、高齢の方）への対応について、お聞きしたい。

議員

要援護者支援事業がある。支援事業に手を挙げていただけない人への対応をどうするのかを考えながら、市も議員も問題意識をもっている。

平成27年度当初予算主要事業の中に、障がい者の福祉の充実という部分があって、その中で、要援護者への施策をいろいろやっていて、ヘルプカードを配布している。

聴覚の障がいの方に対しては、バンドナを配布している。町会、自主防災会、民生委員を通じて、もしもの時の対応を幅広く行っている。災害メール、エリアメールも活用している。

市民

歳入の内訳で、個人市民税と法人市民税の割合について。

議員

個人市民税は、66億8千万円。法人市民税は、6億2500万円。法人市民税の10倍くらいが、個人市民税になっている。

市民

滞納の件数はどれくらいあるのか？

議員

個人住民税の収納率は、92.61%。法人市民税の収納率は、97.76%。

また、収納率を上げるために、普通徴収から特別徴収へ進めている状況である。

市民

東武東上線の西側について。2市1町広域でバスの運行はできないのか？

また、バスの無料乗車についての考え方について。

議員

広域での調整ができず、市単独の運行になっている。バスの無料運賃は、福祉政策の一環として行っている。負担の公平性については、申し上げられない。

市民

富士見市の教育長が、教科書発行会社からお歳暮を受け取った件について、これでよしということによいのか。12月議会では、適切な対処をして欲しい。

議員

ご意見として承る。

議会全体に対しての質疑応答

市民

市政一般質問において、質問が途中で打ち切られないように保障をして欲しい。
執行部の答弁が、最後まで市民に反映できるように。

市民

市民の要求に対する勉強会、会派を越えた勉強会をすることをお願いしたい。

市民

議員と町会との役割においては、自分の選挙の足固めではなく、市議会議員全員が統一した見解で臨んで欲しい。

市民

せっかくの政務活動費なので、全額使って欲しい。
議員活動を停滞することは、絶対しないで欲しい。

2班体制で実施した意見交換 <テーマ：防災>

<A班>

市民

8月の台風で床上浸水被害。ららぽーと建設で浸水被害はないと思っていた。
高齢者は避難所まで逃げるのが難しい。インターネットを使用できない人にもわかるような情報提供をして欲しい。まずは命を守ることが大切。

議員（進行役）

防災無線についてはどうか？

市民

風があると聞こえない。また、反響していると聞こえにくいことがある。

議員（進行役）

聞こえない場合、テレホンサービスの利用もして欲しい。

ほかにどんな方法で情報を集めているか？

市民

情報を集めづらいので、市としての広報をもっと積極的にして欲しい。

議員

水谷東では、避難勧告には町会で対策をとっている。高齢者などはまずは垂直避難を。
現実的に避難所への避難が困難な場合もある。

市民

現実に避難困難者への対応は、何かあるのか？

議員

歩けない場合は2階への垂直避難を。地域防災計画で水害への備えは見直しを図る。
地域での連携も重要となる。

市民

町会の班長などに防災対応が可能なのか。緊急時の防災対応が必要になる。

議員

町会の役割と防災の役割は別にしているところもある。自助7割、公助2割で対応している。

市民

命を守っても損害があるかもしれないので、避難だけでなく、その後の対策も検討して欲しい。

市民

土砂災害区域とされても不安になるだけである。
全体の命と暮らしを守ることを具体的に検討して欲しい。
助成については、定額ではなく定率も考慮して欲しい。

<B班>

市民

全市的な防災訓練の際に歩いて避難している市民を見かけたが、もっと緊張感を持つ必要があると思う。学校にある災害用井戸水の取り扱いなどについて、担当職員に頼りなさを感じた。首都直下型地震が発生した場合、富士見市の地域性から国の支援が後回しになると思われるので、市で災害対応は完結できるような体制に向けて強化すべき。避難所などの運営については、男女の特性を活かしてなるべく全員に役割分担をすることが大事である。

市民

先ほどと同様に災害時の避難所関連施設に関して、職員の勉強不足を感じた。

市民

台風9号被害の写真など富士見市HPに掲載されていない。当時市から被災地域住民に周知がなかった。

市民

災害時の避難所関連施設に関して、職員の対応に不安を感じた。ガスバルクの取り扱いについて更なる取り組みが必要と思った。

市民

民間マンションのAEDの設置に、市から補助をして欲しい。

市民

情報発信の更なる工夫と、小学校と中学校の避難所対応の平準化とさらに洪水時のマニュアルの充実をして欲しい。

市民

市内での過去からの災害情報を用意して欲しい。

市民

災害時の給水対応としては、給水車やタンクの数不足していると思う。

議会報告会質疑応答及び意見

場所：水谷公民館

決算議案の報告に対する質疑応答

市民

初めて参加させていただいた。議員21人全員が出席するという事は、とても良いことであるが、こんな大事なことが一部の人にしか伝わらなかったことは残念であった。議会報告会の周知についてお聞きしたい。

議員

議会報告会のPRの方法については、市の広報、ホームページ、すべての市の掲示板、公共施設、駅でのチラシ配布などをやったが、PRがまだ足りないということを感じた。

市民

3ページの「平成27年度歳入の内訳」の表示の仕方をもっとわかりやすくして欲しい。パーセントで表すことも必要。金額もその他の方が多くなっている。また、市債はどうなっているのか。

議員

最初の部分は、意見として承る。平成27年度の公債費は、24億円だった。平成27年度末では、市の借金が203億円。ここ数年間の市の借金の残高は、平成25年度が196億円、平成26年度が202億円であった。

市民

203億円と言われたが、市の借金の残高は、300億円あるのでは？

議員

203億円は、一般会計についての借金の部分である。特別会計、企業会計を合わせると、300億円になる。

市民

どうして議会は、タブレットを使用しなければならないのか？

議員

タブレットの費用は、政務活動費から支出している。導入の経緯は、検索をして質疑に役立てること、紙の削減、事務量の軽減にある。今後、執行部にも働きかけていく。

市民

会派のコピー費について教えて欲しい。

議員

議会事務局の中にコピー機があり、各会派がコピーをするときは、それを使用し、政務活動費から支出している。なお、一部会派にリソグラフがあり、そのレンタル費用も政務活動費から支出している。

議会全般に対しての質疑応答及び意見

市民

山崎公園の菖蒲がみずぼらしかったが、対応をすぐにしてくれた。また、子供達のオーケストラをつくるように再三言ってくれた。

議会の皆さんは、常にフォローアップをして欲しい。

市民

学校の先生が、塾の先生に教育を受けて良いのか。方法論が間違っている。

市民

針ヶ谷2丁目の浦和所沢バイパス沿いにあるケヤキの木の落ち葉がひどく困っている。いろいろな方にお話をするが、なかなかやってくれない。市に電話すると、県の管轄だから市ではできないと言われてしまう。こうした場合、議員の方でも話を聞いて欲しい。

市民

針ヶ谷地域も年々高齢化が進み、お年寄りが多い。高齢者の事故が多い。針ヶ谷地域、みずほ台地域の人たちを輸送するライフバスの運行をお願いしたい。会社への折衝をしているのか。

議員

市の循環バスについては、会派を超えて問題意識を持っている。市の西側、西地域については、今後、バスの運行ができるように要望していく。

2班体制で実施した意見交換 <テーマ：防災>

<A班>

市民

台風9号について、水害被害があったところが知りたい。

議員

床上浸水は、山室地域、勝瀬地域の一部、関沢地域の一部、水谷東地域は、被害がなかったが、避難勧告があった。

市民

防災行政無線が聞こえなかった。

特に地域によっては、志木市の防災行政無線と重なって全く聞き取れなかった。

市民

台風9号の時の降雨量が知りたい。

議員

約56mmくらいである。

市民

台風9号の議会での追及は甘かったのでは。

市民

水子地区には大学を誘致して貯水池をつくれば防災に役立つのではないか。

市民

防災無線がアナログからデジタルに変わっても、まだ聞こえなかった場合、どうやって情報を得たらいいのか？

議員

テレビや、公民館の職員が車で巡回することもある。そういったものを活用してみてもは。

市民

災害時の連絡網を町会で作ってみてはどうか。

市民

水谷東地域にはすでに自主防災組織がある。

市民

災害時要支援者の情報が足りないのではないか。

市民

息子が障害を持っているが、届いた民生委員のパンフレットに担当民生委員の連絡先が書いていなかった。災害時に困る。

市民

元民生委員だが連絡先を書かないということはない。市に確認してみてもは。

市民

排水溝の草刈りに、市に行っても時間がかかる。水害時に危ないのでは。市は排水溝の草刈りにすみやかに対応すべき。

<B班>

市民

内水ハザードマップは、どこが浸水するのかわかりにくい。自分が住んでいる所が危ないかどうかとよい。

市民

防災訓練は、まちづくり協議会主体で学校区で実施している。今まで町会が小規模で行っていたが、災害は広範囲で起きるため校区でやらざるを得ない。5つの町会が防災会をやっている。これまで地震の訓練はやっていた。ガスバルクを使い炊き出し訓練も行った。しかし、最近は集中豪雨もあり、道路が冠水してしまう地域も多くある。そこで、ハザードマップの勉強会を開いた。

性蓮寺前が低くなっていて一番危ない。幅60cmの所から、浦所バイパスに抜けるトンネルの水かさが増えてくる。玄関先まで水がきた。土のうを配った。

今後いつまた起きるかわからない。水谷東から水谷小に避難したが、町会には何の連絡もなかった。歩いて学校に来た。学校側も困ってしまったと聞く。集中豪雨に対する訓練を来年行う予定でいる。上沢の例を参考にしたい。議員も一緒になってやって欲しい。

地域を助ける時は、一体とならなくてはいけない。訓練もしなくてはいけない。地域に要援護者が8名いるが、福祉課から精査して欲しいと言われている。服用している薬のこと、住んでいる部屋のことなどを民生委員と町会が調査している。目の前に助けて欲しいと言っている人がいたら、そちらを先に助けて要援護者は後でいいと指導している。一軒一軒の精査を、議員も一緒にやって欲しい。要援護者の基準がおかしい。買い物に行っている人もいる。

市民

昨年の市の防災訓練では、市の職員の動きが悪かった。今、都市型水害で排水が追い付いていない、実態に合っていない状況になっている。昔は町会と議員と一緒にやっていた。火事があったら飛んで行った。今は役割が分担されていてバラバラになっている。昔は水害の起こる地域の凶面が町会に下ろされてきたこともある。議員は執行部と生のやり取りを。昔は土のうも町会に配ってくれて、運んできてくれたと思う。

市民

昼間、パトロールで針ヶ谷1、2丁目を2000軒回った。仕事でほとんど留守である。マンションも入れない。土日もない。電話も通じない。地域の絆が弱まっている。いつも町会が一生けん命やっていたのはありがたい。針ヶ谷地域は平和ボケしている。針ヶ谷は何の問題もないと言う人が多いが、若い人には自分の所だけは何も起こらないという無関心から抜け出していただけたらと思う。

市民

一般市民の関心が薄い。情報を見ていない方が悪いというのはあるが。民度を上げるように高めていった方がいい。ワンルームはほとんど関心が薄い。市に関心を寄せるようにしないと。一部の人はやっているがみんなに届いていない。自分も少しずつ何かやりたい。

市民

初参加。これまで議会報告会がやられていたことは知らなかった。防災のことなど、平和ボケと言われた人がいたが私もそうだ。町会のみなさんに気を入れてもらわないといけない。町会のみなさんも防災のことを学んでいただきたい。

市民

今回初めての議会報告会かと思って来た。去年はある会派の報告会に行った。主人が町会長をしている。苦勞がよくわかる。掲示板を見て参加したが、お知らせが小さい。市民にわかるようにして欲しい。もっと大きくして欲しい。議員の写真はいらない。水谷小に避難した話は今日初めて聞いた。

市民

避難訓練などどうなっているのかと家でも話題にしている。1泊の訓練をやっているところもあるが、地域によってバラつきがある。実際に避難訓練などしておかないと慌てる。自分の所の町内会がどうなっているのか帰ったら調べてみたい。

市民

ハザードマップを見ると、ふじみ野や水谷東の地域は隣町と入り組んでいる。

隣の市町で連携し協定を結んで行くことも必要。

市民

伊勢湾台風で大きな被害が出た。自衛隊が来た。バイパスが冠水。志木には行けなかったと記憶。まだ河川改修がやられていなかった時代。夜中でも新河岸川の土手を避難した。そんなことがまたあっては困る。ポンプでは間に合わない。いかに人を早く避難させるかだ。いつまた起きてもいいように検討しておいた方がいい。第2町会の集会所では、婦人会などが1日2日は炊き出しできるようにと構えている。人命救助のためにこれからもやって欲しい。

市民

市庁舎の移転も考えるべき。災害の時の司令塔が潰れてしまったら困る。

市民

こういうことをやるのはいいことである。もっと市民が参加しやすいようにして欲しい。タウンミーティングは100人集まった。